



# かん きょう はい りよ とり くみ 環境配慮の取組



環境先進県として、「環境に配慮した いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」推進宣言を行い、環境への配慮に取り組みました。

## 「環境に配慮した いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」推進宣言

1

スポーツの素晴らしさとともに、環境というテーマを幅広く共有し、県民、企業、団体、行政が一体となった「オールとちぎ」によって、様々な場面で環境に配慮した両大会を実現すること

2

県内産業の技術力を生かし、「メイド・イン・とちぎ」による環境配慮の製品・サービスを積極的に活用した両大会を開催することで、本県の実力を県内外にアピールすること

3

両大会を通じて得られた環境に配慮した取組に関する成果を「次世代のとちぎ」へと引き継ぎ、幅広い取組につなげていくこと

## メイド・イン・とちぎの環境配慮製品



栃木県選手団ユニフォーム 運営スタッフウェア

世界で初めてペットボトルからペットボトルを再生する技術を開発した県内企業の技術力を生かし、ペットボトルから再生した繊維を採用しています。機能面でも、軽量で通気性と速乾性に優れた生地になっています。また、選手団ユニフォームは、県内各地の競技会場等に展示しました。



## 県産「おから」を15%配合したバイオマスプラスチック サンプラスチック㈱(那須塩原市)



応援用バルーン 資料袋 ゴミ袋

## 再生紙使用で環境に配慮した紙袋 ハイコーパック㈱(芳賀町・市貝町)



## 塩化ビニールを低減した「とことんエコなバナー」 ㈱幕専(矢板市)



## 紙媒体に代わる会場周辺Webサービス「とちぎメインスポット周辺ナビ」 ヤマゼンコミュニケーションズ㈱(宇都宮市)



## 環境配慮の取組成果

### 再生可能エネルギー電気使用による CO<sub>2</sub>削減量

851t

大会運営に県営水力発電所で発電した、CO<sub>2</sub>フリーの「とちぎふるさと電気」を活用したほか、J-クレジットによるCO<sub>2</sub>オフセットを行いました。



### EV/FCVの使用台数(のべ)

104台

環境配慮のPRブースを設置したほか、ブース運営の電源などにEVやFCVを活用しました。



### パンフレットなどの電子化による紙の削減

1,780万枚

「観戦ガイドブック」や「総合プログラム」などを電子化し、紙の使用を大幅に削減しました。



### 大会応援用ハンドタオル製作に回収した古着の量

2.1t

県民の皆さんから集めた衣料品をハンドタオルに再生する「県民参加プロジェクト」を実施しました。ハンドタオルは都道府県応援団の児童生徒が活用しました。



### スポGOMI大会など環境イベント参加者数(累計)

12,654人

競技会場周辺でスポーツ GOMI 拾い大会を開催したほか、いちご型のゴミ袋を活用した「いちご一会きれいな街で迎え隊」活動を実施しました。



### エコ製品・サービスの使用件数

170件

賞状持ち帰り用の袋や、弁当容器をプラスチックから紙に変更したほか、バイオガス由来のLPガスを炬火の燃料として使用するなど様々な場面で環境に配慮しました。

